

海外の戦争に自衛隊の若者を送らせない！

朝鮮半島で平和の動きが起こっているときに、9条2項を空文化して自衛隊を明記するのは「時代錯誤」です。

一番の景気対策は消費税10%の中止

▼10%への増税は1世帯あたり8万円の負担増
▼所得の少ない人ほど負担が増え、貧困と格差をさらに広げます。

■社会保障の財源は

“アベノミクス”で空前の利益を手にしている富裕層と大企業に応分の負担を求めて確保できます。

安倍首相になって以降

- 家計消費は2人以上世帯でマイナス25万円（2013年比）
- 大企業の純利益 19兆円⇒45兆円
- 大株主が持つ株式（時価総額） 3.5兆円⇒17.6兆円

日本共産党

「9条改憲ノ」「消費税10%ストップ」
——この思いも日本共産党・小島昌治に託してください！

“町長派”でも
“反町長派”でもなく

町民の利益第一でがんばる
小島昌治の議席が焦点です

「町長派と反町長派のどっちが議席を増やすのか」に焦点があるかのように書いている新聞もありますが、本当の焦点は、「町民の声を町政に生かす」、いつも町民の苦難の現場（水害など）にかけつけ、現場で話を聞いて一緒に解決策を考える…こんな活動をしてきた…日本共産党・小島昌治の議席が焦点ではないでしょうか。

●18歳までの医療費完全無料化実現

▼子どもの医療費無料化は、“子育て支援のカナメ”の政策として一貫して拡充を求め続け、ついに県内トップで2015年度から実施に！

【声】子どもの医療費、高校卒業まで完全無料になってとっても安心しました。夜中に熱出されると、「財布にいくら入ってたかな」って、先に考えてしまうくせがっていました。（30代・女性）

●宝達山への産廃処分場建設ストップ

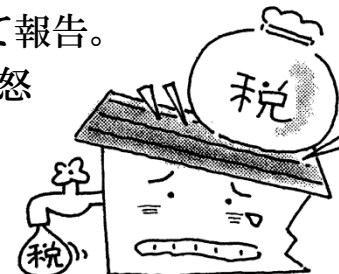
▼2010年各種団体のみなさんと力あわせて反対運動にとりくみストップさせました。そしてまもなく、世界農業遺産の登録地域に入りました。

●高すぎる下水道料金の引き下げ（とりあえず500円）

▼平成28年度の下水道料金の大幅値上げには、小島昌治議員だけがきっぱり反対（他の議員は『仕方がない』と全員賛成）。

小島議員は「下水道料金引き上げを考える」“集い”を各地で開いて報告。

「高すぎる！」という怒りが広がる中、とりあえず月500円は引き下げられました。



みなさんの声・願いを束ねて、
町政を動かしてきた

小島昌治議員